

黒石市立小・中学校適正配置第6回検討委員会会議概要

招 集 日 時 平成23年2月23日（水）午後1時30分

開 催 場 所 黒石市産業会館 4階 大会議室

案 件

1. 確認事項

- ① 答申書の目標年度について
- ② 学区の見直しについて

2. 協議事項

- ① 答申書の全体像について
- ② 適正規模について
- ③ 黒石市における小・中学校の適正規模について
- ④ その他

4. 会議における主な意見 ※（○印は委員の意見、→は事務局の回答）

○ 本日は大変お忙しい中、第6回検討委員会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。これまでの第5回までは、我々の勉強会的な面が強かったのでありますけども、今日からは具体的な検討という事になろうかと思えます。今日2月23日ですか、本当に天気が良くて気持ちがいいわけですが、まさにこの気持ちのいい答申書ができればなとそういうふうに思えます。最後までよろしく願います。それでは次第にしたがって進めさせていただきます。確認事項ということですが、先日幹事会におきまして、答申書の目標年度という事で、10年後をめどにした形での姿を目標年度としようではないかという事で確認をさせていただいております。あと学区の見直しですけれども、これにつきましては複数箇所へのぼるということから、基本的には当委員会では取り扱わないということの確認をさせていただいております。何かご質問ございますか。はい、それでは次に協議事項の方に入らせていただきます。答申書の全体像についてという事で事務局の方から。

○ まず全体像についてという事でのご説明をいただきました。ご質問ご意見ございますでしょうか。ないようですので、一応全体像としてはこういう形で進めさせていただきますということでお願いいたします。次に適正規模についてということで、事務局の方から願います。

○ ありがとうございました。基本的な考え方についてご質問ご意見をちょうだいしたいと思います。ないようですので、次の②についてよろしくお願いします。

○ ありがとうございました。②の学校規模によるメリットとデメリットについてはこれま

でもいろいろとご意見をいただいていたのですが、改めてご意見ございますでしょうか。

- 規模によるメリットデメリットということでわかりやすいんですけども、あと一つちょっと気になっているのが、現状黒石の中での中学校、小学校の中で小学校の場合、給食のある学校と給食のない学校があるわけですが、それをある意味では学校単位のメリットデメリットになっているであろうと私は感じています。中学校の場合一つ思っているのが、どうしても中学校になれば受験というものがあまして、実際塾という問題は学校管理外のことなのでこういう数字にはおそらく出ないと思うんですけども、中学校3年生になればだいたい黒石市内の9割方が塾に通っているという話は聞いております。そのメリットデメリットの中で、小規模校の場合はひとつのクラスをレベル別に分けた授業を行っている学校もあり、そういうのもまたひとつのメリットデメリットとして、あるのかなと思っていました。それがここにかけることかどうかはわかりませんが、それを一つ教えていただけますか。
- 今の話を、この先進めていく上で配慮していければと思っています。他にございますか。ないようですので、次に進めさせていただきます。③については事務局の方はどういうふうにお考えでしたか。
- 先程もチラッと言いましたけども、国の標準規模に合わせた黒石なりの適正規模をご検討いただきたいと思います。まったく国のままでいいのか、それとももう少し、国の標準規模にあてはめると、小学校では2校、中学校でも2校しかないものですから、黒石市の標準規模というのはもう少し弾力的な形で検討できないかという事でございます。
- 国の適正規模にはあまりこだわらずに、黒石市らしい部分を加味しながら、お話いただければという事だと思います。お一人お一人からご意見をいただいく形をとらせていただきたいと思いますと思っていますが、普段お考えの事をお話していただければと思います。メリットデメリットという事でいきますと、私なんかは小規模校といいますと家庭的なイメージがありますし、大規模校といいますと社会的なイメージといいますか集団という感じなんですけども、家の前を子供達が通りますと、大きいランドセルを背負った小学校1年生を見ますと、家庭的な方がいいのかなとも思いますし、また、中学校3年生となるとやっぱり社会的な方がいいのかと、そんな事を思ったりしながら毎日見ているわけです。ではよろしく願います。
- 私の個人的な意見ですけども、今私の周りで起こっている問題といいますか、その中に小規模校だから組替えとかも全然できなくて、ずっと1年生から6年生まで同じ顔ぶれという例があって、子供は小さい頃はそれでもいいのかもしれないけども、だんだん思春期と言われる年齢に達してきた時に、子供達の間でトラブルというか、仲間割れとかそういういじめに繋がるような事がだんだん起きるようになってくるみたいです。私の子供達は〇〇小学校なので、有難いことに組替えとかあって、何かトラブルとか起きたとしても、2年に1回ぐらいの間隔で組替えがあるので、友達同士のトラブルがそこで流れてしまうという感じで救われているんですけども、組替えがない学校だったらもう救いようがないというか、親もその事ですごく悩んでいて、友達とのトラブルとか人間関係がまずうまくいかないので学校での生活が楽しくないとか、学校での生活が楽しくないので勉強も身が

はいらなくなるというような状況がおこっていて、せめて2クラスぐらいはあって組替えができるような環境にある事が、子供達にとって友達との関係の面から見た時はいいのかなという考えがあります。でもクラスの人数があまり多ければ、またそれでいろんな問題が出てくると思うので、だいたい30人ぐらいのクラス編成で2クラスぐらいあるようならちょうどいいのかなと、これは私の理想でもあるんですけども、そういうふうに思います。

- 私は今高校に勤めているので、どうしても考えられることといったら中学校あたりのことまでしか考えられないというか、想像できないので、中学校のことを念頭において話をしたいと思います。現在青森県でも高校の中で、現に統廃合が進んでおります。廃校になったりあるいはあまりにも小さくなって分校になったり、あるいは高校でありながら1学年2クラスしかない、あるいは1クラスというような状況の学校を見ていると、まず一番気になるというか目につくのが、部活動の停滞化です。生徒が少ないという事は教員の配置も少ないという事で、部活動を指導できる先生がいない、生徒もいないという事から自然に部活動が消極的というか、沈滞化していくという状況にあります。校内の方に目をやると空き教室があるのだけれども、使われていない。端的な例をいうと学校に図書室、図書館はあるのだけれども、1週間に1回しか開けないとかあるいは全く開かない、図書室がずっと年間閉ざされたままという状況にあります。今中学校の数を見ていたんですが、10年後あるいは12年後というふうな数字を見た時に、全校で47人の中学校で3クラスというようなところの数字を見ていくと、実際今現在ある高校の分校、あるいは閉校に近い学校よりももっと数が少ないというふうな状態なので、そういうふうな教育活動というのは、一体どうなるんだろうというような不安がやっぱり数字的に見てとれます。という事から、少なくとも社会に送り出す一手手前の学校として、高校、中学校としては、やはりそれなりの活動を経験させながら、社会あるいは高校に送りだしてやるのが我々大人の責任なのかなというふうな事で、1学年3クラスだとちょっと少ないかなという気もするのですが、この生徒の数を見ていくとやはり、1学年3クラスの数確保した学校を作っていかなければ、やはり生徒の数に支障がでる気がしているところです。希望を言うと高校並みといいますか、1学年5クラスあれば、ほとんどの活動はできる。3クラスならなんとか乗り超えられるかなという感じだと私は思っています。

- 昨年まで中学校のPTAをやっていました。実際現実には現実として我々も受けとめております。しかしながら正直な話、ちょっと今中学校の話が出たので言わせてもらいますけれども、高校に進学する場合、私達の地域の3分の1ぐらいは、どこかに泊るか、寮に入るか、親戚の家に行くか、高校に行くということは家を出るという環境です。中学校3年生になって受験対策だ塾だと考えた時に、歩いて行けるところは一つありません。熱心な親の何人かは塾とかへ通わせますけども、常に10%超えたことはありません。その中で受験対策といえば学校にお願いするしかないという状況でして、先生方もそれに対して能力別にクラス編成したりして臨機応変に対応していただいて、それなりに成果は上がっているんじゃないかと評価させていただいております。それはあくまでも〇〇中学校の話ですけども、確かに理想を言えばもっと人数の多い方がいいだろうし、1学年3クラスは最低あった方がいいという事は私もわかりますけども、ただ現状よりも不利益が生じるような事はないのかなと。正直言って私達の地域で塾と言われても通えないというか、現実的じゃないという人はかなりおりまして、その部分だけ考えればそうなります。ただ社会性

とか人間関係の構築とか考えればもっと切磋琢磨させたいというのはありますけども、ただ特殊な地域性ということをご理解いただきたいと思います。もう1つ小学校についてですけども、さっきも給食の話を出してもらったんですけども、結局どこも同じ条件であればもっと話しやすいんだと思いますけども、自校式で給食がありまして、結局条件が学校と一緒にバラバラだというのがこういう話を進めていく上でネックになるのかなと思います。もし将来的に行政として給食の体制を全部作るという事があれば違う話になるんでしょうけども、そこまでは今我々は踏み込めないと思うんですけども、ただ、実際現実にそういう状況は発生していますし、私が以前ちょっと調べた時に、確か給食やっている学校は食材費だけ負担しているという事ですよ。それにかかる設備とか作る人の人件費とかは市で持っているという事で、正直言って結構アンバランスが生じているのかなと、その辺もちょっと解消していかないと、まずいんじゃないかと思っています。ただ本当に少子高齢化の中で、ある程度の決断はせざるをえないというのはわかるんですけども、やっぱりその前の条件づくりという部分が具体的に见えてくることも必要かと思います。あと数は、今日結論を出すわけじゃないと思うので、小学校何校、中学校何校とそこまで私はまだ言いません。

○ 上の子の時に何年かぶりに2クラスになりまして、下の子は1クラスなんですけども、2クラスになって思春期の5年生くらいになりますと、いろいろ女の子達が揉めるのはまず1クラスでも2クラスでも同じ感じなので、やっぱり3クラス以上あった方がいいと思います。今話がありましたように、〇〇小学校は給食があるおかげで、今役員とかそういう方もいろんなところから来た方が多くなりまして、前は本当に地元の人を上立たせろみたいな感じの雰囲気がありましたけども、いろんなところから来た方と話をしまして、まず弘前から来た方は運動会を土曜日にしてもらいたいとか、地区町内と一緒になので日曜日やっていたんですけども、日曜日に雨が降ると平日の水曜日にやることになるので、見に行けないとかそういう感じで土曜日にしてもらって、雨の時は日曜日にしてもらいたいという意見が多くて、その事で役員の人とか町内の人達で話し合いをしても、やっぱり他からとかそういうのは関係ないんですけど、昔の雰囲気とはだんだん変わってきて学校の中も変わってきているようです。

○ みなさんとはちょっと変わっているかもしれませんが、この間送られてきた資料の適正というのは、小学校では2から3、中学校では4から6とありますが、先程、小規模と大規模のメリットデメリットの説明もありましたが、適正配置というのはメリットデメリットによって決めるものではないと私はそう思っています。小学校が現在10校ありますが、私の憶測では将来的には黒石は3校か多くて4校くらいになると前にもここで申し上げましたが、黒石小学校と中郷小学校と北陽小学校が合併になった場合、もう5年後でいけば、この資料でいきますとその時点でも606人ですから、もう10人も割れば500人台になります。皆さんも聞いていると思いますが、300人から500人が適正かなという話もありまして、この3校で合併すれば全体的には将来的に3校か4校。中学校はどうなのかというと、今は4校だけれども例えば東英中学校と中郷中学校が一緒になる事はないだろうし、将来的には2校くらいになって、東英中学校と黒石中学校が合併したとしても34年度でも317人、それから中郷中学校と六郷中学校と合わせても34年度は382人。こういうふうなデータが出ておりますので、中学校は将来的には2校くらいになると思います。1校という事はないと思いますので、その辺でだいたいこれからの適正というのは

進むのかなというような感じはしております。

- さっきのメリットデメリットを見ているんですけども、根本的には私がこうして話すのは何が目的かというと、子供達の健全育成というのが最終目的でして、その中で小規模校のメリットという事で、児童生徒相互の人間関係が深まりやすいというのが目につきます。大規模校のところのデメリットで全教職員による児童生徒一人一人の把握が難しくなりやすいというところがちょっと目立って気になるんですけども、よく文章に切磋琢磨するという言葉が出てきますけども、結局はやっぱり子供達は、例えば小さい学校から中学校に行って増えて、高校に行ってもっと増えて、社会に行って増えて人間関係が変わっていくわけですけども、そういうところを考えると、ある程度やっぱり人間関係に揉まれて、強くなっていった、それから社会に出るのが一番理想だと思うんです。ですから小規模校のデメリットと大規模校のデメリットをなくした中間のところで、メリットだけで残すようなやり方をするのが黒石らしいやり方だと私は思っています。そうするとおのずと人数とか、学校の配置とか、見えてくると思うんです。
- 具体的には何クラスとかいうのは。
- 最初から言っていますけども1クラス30人くらいが生徒間の交流も、生徒と教師の交流も、それから教師間の交流も、それぐらいが理想じゃないかなと私は思います。
- 非常に難しい問題だと思うんですけども、生徒数によって教員の人数も決まってくるので、先程、部活の話やら図書館の話やらいろいろ出しましたが、私が小学校の時はだいたい30名から40名で2クラス程だったのですが、その頃でも生徒間の揉め事がありまして、私も仲間外れにされて児童館にクラス全員から呼び出しをかけられて、振り回された事がありました。でもその頃は学校でそういう事があって、あるいは先生に叩かれたという事を親に言えなかったです。なので逆にそれが自分で開拓していく力になってきたんだと思います。今の子供達というのは、子供よりも親御さんがそこにあまりにも繰り返しすぎて、学校でこういう事があった、先生がこういう事をしたとかいう事を、あまりにもかばいすぎるので、子供達がそれに立ち向かっていく力をつけようとしなのではないかと思います。今本当に12人とか13人とかの学年もありまして、やっぱり理想は30人ぐらいだと思いますけども、それをじゃあ合併するかと考えた時に、学校内だけの事を考えると、30人から40人をめどに合併するという事でいいと思います。その子供を交えたその家族全体などを考えた時に、新しい校舎を建てるのであれば、例えば中郷と浅瀬石という時に、そこの真ん中に新しい校舎を建てるのであればいいけども、中郷の人が浅瀬石まで来る、浅瀬石の人が中郷まで来るという事になると、小学校でありながら自転車で行くか、あるいは通学のバスを市で運営してくれるか、自転車で行くと考えた場合も冬期間は絶対それは無理な訳ですので、個人的に交通費を出してバスで通わないと駄目になるわけです。そうすると負担とかそういうのを考えた時に、果たして人数だけで把握できるのかというところがあります。確かに30人という仲間意識間の事を考えるとそうなのかもしれないですけども、でも今その10人から20人の間の1クラスという中においても、子供達がその時代に合った力をつけさせてあげるというのも教育の一つではないかと思います。なので私はたとえ人数が1クラスであっても、やはり子供達にその時代に合った学校に入っている時はみんな誰でもやってくれていたのだからなんとか言って、社会に出た

時に誰もやってくれない。じゃあ果たしてこの不況の社会に出た時に、立ち向かっていく力がつくのかなという疑問があります。なので、人数が少なければ少ないなりに、子供達に力をつける教育というような形で、今の現状で頑張ってもらえたほうがいいのかなと思います。

- 今まで、出れなくて終わった後の皆さん方の資料を見ながら、我々の会そのものが適正配置検討委員会という事の中で、ちょっと前段の方が時間かかり過ぎてるんじゃないかなという気がして、目的がはっきり見えていながらそこまでの道のりを紆余曲折というかある意味みんなが現状を知るという事でそうなのかなとは思っていたんですけども、確かにどちらにしてもメリットデメリットもあるし、今より遠くなったりするのは嫌だとか、あるいは給食があるところがないところに行くのはどうなのかとか、これもメリットデメリットにはいっていきんですけども、昨日、新聞に田舎館村の小学校がもうすでに合併に入っているということで、これは正直言いますと行政の方でも財政的な部分の中でやむをえずやっている。これは今黒石だけの問題じゃなく、日本全国でこういう事をそれぞれ検討されていると思うんですけども、じゃあどうするのかというと、皆さんも新聞でご存じのように、今日も午前中市長さんとお会いしてきたんですけども、いろんな話の中で学校も耐震性がないという事が言われてお金がかかる、市民には文化会館を早くオープンしろと言われるし、お金がいくらあっても足りないという、これが一番悩みだという事を言っているわけですけども、ただやはり本当に人数が多くていいという人もあれば、少なくてもいいという人もあるんですけども、最終的にそれを維持していく為の財政的な部分の中で、これは統合した場合でもまた問題が出てくるんです。残った学校の跡地をどうするかというのでも出てきますし、じゃあ2つとも捨てて統合して新しい学校を作るというのがいいのかという問題が出てくるんです。先日ある人が黒石でも学校を合併する話をしているみたいですけども、今度中郷小学校を合併するのであれば中学校の側に建てないと駄目だという事を、父兄の方から北陽小学校と黒石小学校と中郷小学校がはいる小学校なら中学校の側に建てるのじゃなきゃ駄目だよ、私ならそれでないと騒ぐよという人も出てきたりしているんですけども、それぞれの考え方の一つなのかなと思っています。本当に私は、これだけの資料が今回出てきて、今日各小学校規模要約図というのでも出てきていますので、一度無記名でどういう形で今までの資料を見た中で、どことどこを何年後先まで生徒数がわかっているわけですから、その中で自分の考えは小規模でいくため、今の状態ではちょっと無理で、少なくとも1校2校は合併しないとイケないというのであれば、私はここここが組んだ方がいいんじゃないかと、委員の皆さん方の無記名の中での心の思いというものを、一度見てみるのもいいのではないかなと思います。そろそろ、そういう事をしてもいい時期なのかなという感じがします。これを席上でどう思いますかと言われて言葉を選んで話をするよりは、今までの資料、6回もある資料を全部見ながら、これはやはり最終的にはある意味合併というか統合というかそういう前提なんだという、その中でいくと、少なくとも私は今までの考えの中では、このぐらいの規模でやってほしいというものがもう一度は皆さんの意見を無記名で確認してみるのもいいのではないかなと。そこから見えてきたものを議論して、またいろんなものをいい意味で解決していくというような、整理していくというのが、いいのではないかなと思います。

- 今、適正規模という事で、国と黒石市はどのぐらいの適正規模がいいのかという話だと思いますので、国の基準の規模というのは確かにいいと思いますし、私の経験からいけば、

〇〇小学校に入って1学級、途中で2学級になったり、また1学級になったりと様々な状況で、中学校も〇〇中学校というそんなに多くない状況で、高校は大きい学校に入ったわけですが、大きいから何がいか小さいから何が駄目か、別に小さいから駄目とかそういう事は今までの経験上は気にした事はなかったです。大きいところがうらやましいとかそういう事は別になかった状況で、この適正規模からいくと国の規模がいろいろな検証した結果こういう事になっているならいいのかなというふうに思っていますけども、黒石にしてみれば小学校1学年2学級から3学級、これはこれでいいと思うんですけども、中学校は1学年2学級からというぐらいの方が黒石市にしてみればいいのかなと。ですので先ほど皆さんの意見を聞いて、適正配置の部分もおっしゃっていましたが、今は規模の話をしているかと思いますが、規模としてはそのぐらいがいいというか。あと、学校を運営する側がどのぐらいの規模が適正なのかという、逆に子供達もそうですけども、運営する側がどのぐらいが一番やりやすいというか適正な運営ができるのかというところもちょっと聞きたいというか、運営する側がいい環境で運営しないと、またいい教育もできないと思いますし、運営する側はいっぱいいいで、つらいというかアップアップしながらやっているのであれば、なかなかいい教育ができないという考えもありますし、その辺の運営する側がどのぐらいの規模が一番やりやすいのかなということが気になる場所です。

○ 適正規模は非常に難しいのですが、国の一応の標準があるので、それに引っかからないと、教育委員会としてまずいんじゃないかと思うんですけど、小学校は12学級ぐらいかなと適正規模としてですね。中学校はちょっと下めに見て、9学級から12学級ぐらいがどうかと思っていました。ただし、これまで何回も勉強してきた事を考えて、これまでの経緯もありまして、まず第一に児童生徒の負担にならない事。絶対に児童生徒の肉体的、精神的な負担があってはならないと思います。それは距離的な事も含めてですね。もう一つは、これまでの黒石市のいろんな社会教育なり、市の考え方から地域の特徴や、考え方を尊重することという事が必要じゃないかと思います。小さいからといって即統合ではなく、地域ではこれからも小さいけど地域と学校でちゃんとやっていくんだよ、守っていくんだよという考え方がある以上は、やっぱり大事にしていかなないとこれまで黒石で何をやってきたのと、黒石でやってきたことが何もなくなってしまうんじゃないかとするのであればそれはちょっと困りものだと思うので、地域の特性特色、考え方を尊重するところを入れてほしいと思います。

○ 10年先をにらんでという事ですけども、私は10年先まで待ってられない事が一つあるんじゃないかと思うんです。それはやっぱり複式学級の解消という事です。複式学級だからすべて駄目だというわけではありません。非常に子供が少ないという中で、先生方が一人一人の実態を捉えて、その実態に応じた指導をしていきますので非常に緻密な指導ができるという事はあるんですけども、人間関係も学習指導の面も関係が固定されてしまうので、向上を目指すという事が非常に面倒であるという事と、もう一つは今非常に大事にされている子供達の社会性を育てるという事が、その小人数の中では非常に面倒だと実感してきました。私もへき地の複式学級を5年間担当してきました、でもその当時は黒石市でも厚目内だとか大川原だとか沖揚平だとか近隣でも王余魚沢とか、平川でいけば小国、葛川とかがあって、先生方が学習指導についても交流する研究会があって、いろいろ作った教材など交換し合ったりして、すべて自分で作らなくても対応できたんですけども、今

王余魚沢はなくなりました。厚目内がなくなって大川原がなくなって、沖揚平がなくなって平川でも小国小・中学校が今年で終わり、来年は広船小がなくなる。その後に葛川小・中学校がなくなります。そうすると複式をやっているところが近隣に全くない。そうすると担任する先生方の負担も大変なんじゃないかと思います。複式の中できめ細かな指導ができると同時に、もう一ついいなと思うものが1時間の半分は子供達が先生の手を離れて勉強をしないといけないわけですから、その分自分で学んでいく力は多少ついているような感じがします。そういうメリットもあるんですが、何にしろそういうところがなくなって、交流できる場がない。先生方にとっても子供達の向上心とか社会性を育てる為にはやっぱり複式学級は解消してもらいたいと思います。それから統合の件ですけども、中学校に関してはさきほど〇〇委員がお話したように、2校になっても、校舎に別に手を加えなくても多分できるんじゃないかと思うんですけども、小学校の場合は例えば2学級にみんなしたいとなるとどうなるんでしょうか。新しく校舎を建てなければならないという事が出てくると、今の黒石の財政ではとても私はそこまでは踏み込めないんじゃないかなと。もし統合するというのであれば、今の校舎を使いながらどこかとどこかを合わせて、やれる範囲で進めるしかないんじゃないかなと。あと財政的に持ち直したりして希望が見えてきたらまた次の段階を考えていいんですけども、とりあえずは校舎を建て増したりしなくても済む範囲であれば、進めてもいいのかなと思います。どことどこというのはまだ頭に入っていないんですけど。ただその場合さっきから言っている給食の問題だとか例えばその学校独自の伝統的な部活動だとか、そういうものが大きいものに従順されていくという事になればちょっとまずいかなと思います。新しい学校を作るといって、地域も学校もみんな一緒になってそういう気持ちも忘れないでいかなければ、問題が出てくるんじゃないかと思います。ある校舎は使うんだけど学校はまったく新しい学校でスタートするんだという気持ちでやってほしいと思います。

- 10年後という事でありましたけども、実際は生のデータは今年生まれた人しか出てこないで、どうしても28年という小学校の年度と中学校の人数を基本となるんですけども、10年後というひとつの疑問という意味は、10年後に私達がまだ生きていればその時10年前にあなたたち何したと言われた時に、10年後に決めようと考えていたかとかどういうふうに考えたという事まできちんとと言えるために、10年後という事を考えるべきだなと思ったんです。今いろんな状況、確かに地域の事とかPTAの事とか、給食の事とかいろんな事、みんな歴史ですからそれを大事にするという立場でやっているわけですけども、10年後に、10年後の子供達に10年前に私はこう考えましたという事がきちんとと言える。それはこの事も、この事も、この事も考えたけれども、それを加味してこう思うので、そのためのこの10年を積み重ねましたと。10年後にそれを理解した子供が、そうやってよかったなというふうに、地区の人もPTAの人もある程度理解を得るという事が必要なので、何か問題が起きたのでそれに対応するためにこういう枠組みにしましょうよという考え方よりは、10年後に子供達の人数がこうなるであろうと考えた時に、子供達の生きる力がどうしたらもっと増すのかと、その為にどういう仕組みにすればいいのかと考えるのが私達の基本的な立場と思うんです。パワーアップさせてあげたい。給食があるからないからなどと一生懸命するためにこの会議があるのではなくて、10年後に君達の力がもっとよくなるように全体の枠組みを考えるという立場で、ものを考えましたという事でいいのかと思うんです。その時に大切なのは、確かに一つ一つ積み重ねて数というのも大切ですけども、今あるものを大事にしながら、なおかつ子供達の力をも

っとよくなるよう、10年後の黒石がもっとよくなるようにというラインでものを考えたときに、当然答えが出てくるというのが本当だと思うんです。その前の適正規模というのは、数字で表すことでなくて、地区で様々違う。簡単に言えば私の中にはもうこの先まで答えがあるのだけれども、今言うに次にやる事がなくなってしまうので、基本的に今できることで、そういう形になって外に見える事の本当の意味は、皆さんで言えるかなという事にかかっているんです。どうしたらパワーアップできるという事が基本ラインじゃないと、この答申の中に力がない。やっぱりみんな思ったとおりの答えが多分出てくる。でもその答えにそれ以上の思いを詰め込めてあげないとこれをやった意味がない、というところにもっていくべきなのではないのかなと思うんです。こうやったらよかったとか無理だという事もいっぱい、どんなにあげても誰も伝わらない。10年後の自分がなかなか考えられないから、10年後の子供達のために今こうやって考えるという事がきちんと言えるのが、ここの答申のある意味で基本計画みたいなものの大切な部分だと思うんです。そこを揉みほぐしながら、あんまり堅苦しくなく深い表現の答申書ができればいいというふうに私は思っています。

- はい、ありがとうございます。一通りご意見をいただいたんですが、それぞれのご意見をお聞きして、もう一言言いたいというような方ございますか。はい、ないようです。まとめるというのも大変なんですけども。2クラスとか3クラスとかがいいというだいたいの意見にはなっていると思います。ただ、実際に適正配置という事になっていった時に、先程〇〇委員がおっしゃられた部分を考慮していく事が大切だと思います。そういった意味ではどうなのでしょう。規模が何人というふうな決め方をしてしまうよりも、今の共通認識を持ちながら配置の話に進んでいった時に、よりいい答えが出てくるんじゃないかと。何人としてしまうともうそれに縛られてしまいかねない部分が出てきそうな感じもしますので、基本的には各学年例えば2クラスとか3クラス、4クラス。その方向で進んでいきましょうというような形というのはどうでしょうか。具体的に今何クラスと決めてしまうのは無理があるような気がいたします。
- 全体的な話はこれでいいとしても、学校経営を維持できないような小規模校をどうするかという問題が、手っ取り早い話から進めた方がより現実ではないかと思うのですがどういふものなのでしょうか。
- 先程〇〇委員がおっしゃられた複式学級の件でもちらっと出てきたと思うんですけども、今までの出てきた中では中学校の話はありました。先生が確保できないという部分がありました。中学校3クラスだと、先生が足りなくなってしまうんですね。
- 9教科いないということですね。
- そうです。
- そうですね。その辺が確かにあったと思います。実際〇〇中学校はその辺のところを頑張ってクリアしているという話を一生懸命されていましたが。そうすればさっき言った事なんですけども、共通認識としては、クラスを各学年2クラスとか3クラスとか、小学校、中学校としていきたいと。ただ〇〇委員がおっしゃられた具体的な流れというの

は規模の時に決めないと配置の時に言いづらくないかというのもあるんですけども、その辺はどうでしょうか。例えば無記名で出すというお話ありましたけども。

○ 私が言っているのは目安として、ここが適正配置検討委員会という部分の中ではこのままでは駄目だという問題があるからこれに入っているんだと思うので、今まで5回やって6回目をやった部分の中で、自分としてもやはり慣れた今のままがいいのかもわからないけどもやっぱり先程〇〇委員が言われたように10年後の子供達に言われた時に、そういう問題については私はこう考えたからこういうふうにしましたよ、でもその通りにはいかなかったけどという場合もありますし、その通りいったよという人もあるかもしれないけども、ただもう一回やったら意見もまた変わるという事も、あと4回ありますから6回目の中で一人一人が言葉ではうまく言いあらわせないのと言えないけど、心の中で今現在の整理がついているというものが無記名であれば素直に出てくるのかなという。急に、基本的には合併という言葉がいいのか統合という言葉がいいのかわからないけども、そうしていかないといけないのであれば、人数とか地域的なものからいくとこことここという感じで、それぐらいは今後の下地としては委員長の方でも知っておいていいのかな。案外もう〇〇委員はもうこの先まで私はありますよと言っていますけども。

○ あれは話がひとり歩きするといけないので、こうすればというのを出すのは簡単です。ただその時に一人一人、今私が言ったのはどの地点で物を見るかで全然違うので、私達の方はこれでいいのかというように言われれば提案のしようがないんです。要するに、みんな耳をふさいでしまうのでそのやり方を何とかしてもらいたいがためにこういう良いメンバーが揃っているわけなので、その人達の意味を提示するそういう形で話がしてもらえる。やたら新聞に結果だけこうなりそうだと出されたとたんに、私は何も話を聞いていないという人がかなり出るはずなんです。それよりなら先にみんな呼んできて、こうするかみたいな話を先に100人くらい呼んできてやっちゃった方がよほどいいかなという感じがするのけども、ここが難しい。どういう出し方をした時に市民の方々や、地区の方々が、見ている人達が納得しながら話しできるのかなというのが微妙です。

○ だから考え方によっては、一応市民の代表という立場になるかもわからないし、市民から見ればあなた達を代表にしたつもりはないという事になるわけですから。ただ、たまたまこの検討委員になった時の自分の考えというものがやはり、いろんな意見の中で私はこう選択しましたというものを、あと4回ですかその中でもっていくには、まず半分過ぎたわけですので私は一度皆さんのきたんのない心の一端を委員長並び事務方でも知ると、そこからまた資料の出し方がまた違ってくるかもわからないという部分もあるのかなと思います。

○ お金がないからしょうがないのでなんとかしましょうとかそういう話ではなくてやっているの、例えば〇〇小学校がいついつからなくなるとした時に、それをどう受け止めてもらえるか、なくなるのか、伝統がここに入るのか。

○ なくしろと言っているわけじゃないんです。どことどこと、言っているだけです。

○ なくしろと受け取るのと一緒になるというのは全然意味が違う。それがうまく伝わりま

すか。実際始めた時に、うまく伝わってくればいいなと思うんだけども。

- でも、どうしても時代的というか現状からいくと、これはやらなくてはいけないという問題なので、こういう場を設けて動いているんだと思うので。
- そうですよね。ただ、数字だけ追っていってしまうとますます・・・。
- 数字とか個人個人の感情論だけでいってしまうと前に進めなくなってしまうのかなと。
- だからその出し方というか、なくなるという受け取り方、どこどこ一緒になるからこれから頑張らないといけないというところにいけるのか、というところの出し方が難しい。
- だから新聞を見て田舎館はどのくらいのスパンの中であそこまでいったのかという感じと、浪岡の中学校にしてもあそこまで持っていくのにどのくらいのスパンでどういうテクニックですぐパッパッと一本にしてしまったのかなと。回りもメリットデメリットといういろんな人達がやったと思うけども。
- 叱られるのを覚悟で公聴会をやるとか、いろいろ喋るだけ喋っておくこともあるし、そういう形がいいのか。
- 答申ができればその通りにすべてやるというわけではないんでしょう。いろいろ説明会とかなんとかやって、修正などもあるわけですか。
- 修正というかとにかく尊重はされる。言葉にはないでしょうけども。そのままという事にはいかないと思います。
- 答申がまとまると議会にも当然かかっていくわけでしょうしね。
- 答申そのものは議会にはかからない。質問されれば答えてはいきますけども。直接かかるというものではない。
- はい、ありがとうございます。他にご意見ございますか。
- この間私、中学校の参観日に行って来て〇〇小学校の校長が、来年度教科書改訂に伴って、何か小学校3年生で習ったものも、今度2年生からやるとか、電子教科書みたいなものが出るとか、いろいろ学力の面でこれから子供達もすごく負担がかかってくるみたいな話をしていましたけども、そこらへん情報として自分でもちょっといただきたいんですけども、なんかそういう学習内容が大きくはないんですけども、だんだん変化しているみたいな感じが始まってくるんでしょうか。英語学習とかも含めて。
- ちょっと情報という形ですけども、小学校の方は新しく今度学習内容が来年度から大きく変わります。学習時間も増える事になるのですけども、教科書自体がまず変わります。ですから新学習指導要領に従った形で動いていきますので、その中には先程おっしゃった

英語学習なんかも新たに教科として取り入れていく形になります。中学校に関しては再来年から大きくかわるという形になっていました。それに伴い、教科書が変わるのはもちろんですけども、デジタル化もどんどん進んでおります。他のところでは特に中央の方ですけども、黒板が電子黒板という形になっていたり、デジタル教科書というような教材で、画面で見ながら、あるいは子供達も i p a d みたいな、そういうので学習するという新しい形態も示されてはいますけども、市の教育委員会としてはまだそこまで取り組むというような形にはなっていません。こちらの方は市の校長会ともいろいろと意見交換しながら進めておりますので、必要となった段階で導入していくという考え方でございます。

- この習熟度というのが、高くなっていくのを求められていくのかということを考えると、今回のこの話し合いでも教師から生徒への指導力という面から考えると、そういうのもこの適正配置の中で考えていかなきゃいけないところだと考えていました。
- はい、ありがとうございます。他にございますでしょうか。そうすればみなさんからご意見をお聞きしました。数字だけが先に走っていくのも問題があるんじゃないかというご意見もありました。一応数字だけ言わせていただければ、せめて2クラスとか3クラス。小学校は3クラス、1クラスは30名くらい。小学校12クラス、中学校9から12クラスというような数字が出ていたように思います。ただ数字だけを追うのではなくて児童生徒の負担にならないように、地域の考えを尊重する。あと10年後の姿を見て説得できるような考え方で進めていく必要があるのではないかというふうなご意見であったように思います。一応この事を踏まえた形で、次回の配置の時に考慮した形での意見をみなさんからいただければなというふうに思います。そうすれば次第にありました③適正規模についてはよろしいでしょうか。規模が何クラスとはっきり言えるものでは今の段階ではないような感じに私は思いました。ですので配置の話になった時にその辺のところも更に深まっていくのではないかなというふうに思います。